

2024年6月20日（木）
愛知県保健医療局感染症対策課
感染症・体制整備グループ
担当 濱島、森谷
内線 5193、5446
ダイヤルイン 052-954-7490

手足口病警報を発令します！！

愛知県では「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、県内の小児科を標榜する医療機関のうち 182 か所を定点として各種感染症の発生動向調査を実施しています。

この調査結果によると、2024年第24週（6月10日（月）から6月16日（日）まで）における愛知県全体の一定点医療機関当たりの手足口病の報告数は5.12でした。

これは、国立感染症研究所が定める警報の指標である「5」を上回っていることから、本日、手足口病警報を発令します。

つきましては、手洗い等による予防を心がけ、感染と重症化を防ぎましょう。

なお、この警報は一定点医療機関当たりの報告数が「2」未満になるまで継続します。

注）一定点医療機関当たりの報告数：182 医療機関からの一週間の総報告数÷182

1 手足口病の定点当たりの発生状況

保健所等	定点医療機関数	第22週	第23週	第24週
		(5/27～6/2)	(6/3～6/9)	(6/10～6/16)
愛知県 (保健所設置市を含む)	182	2.48	4.08	5.12
全 国	約 3,000	2.89	3.83	—

※ 全国の定点医療機関数は、毎週若干の変動があります。

※ 全国の発生状況については第23週（速報値）が、愛知県は第24週が最新のデータです。

（参考）愛知県における過去10年間の手足口病の定点当たりの報告数（年最高値）

年	報告数（年最高値）	報告週
2014年	1.70	第30週（7/21-7/27）
2015年	6.07	第31週（7/27-8/2）
2016年	0.99	第40週（10/3-10/9）
2017年	12.51	第31週（7/31-8/6）
2018年	1.21	第28週（7/9-7/15）
2019年	16.72	第30週（7/22-7/28）
2020年	0.29	第2週（1/6-1/12）
2021年	0.34	第50週（12/13-12/19）
2022年	5.18	第36週（9/5-9/11）
2023年	0.56	第39週（9/25-10/1）

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report
AICHI Infectious Diseases Monthly Report

2024年24週 (6月2週 6/10~6/16)

2024年5月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansentop.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

◇トピックス

手足口病、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症、劇症型溶血性レンサ球菌感染症

◇病原体検出情報

◇定点医療機関コメント

手足口病、A群溶血性レンサ球菌感染症、COVID-19等

◇全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(19)、腸管出血性大腸菌感染症(2)、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)(1)、レジオネラ症(4)、アモeba赤痢(2)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(2)、急性脳炎(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(3)、後天性免疫不全症候群(5)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(2)、侵襲性肺炎球菌感染症(8)、水痘(入院例に限る。)(1)、梅毒(16)、百日咳(2)

◇2024年5月報

◇定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

◆ 手足口病 (図1) 【6月20日警報発令】

24週の定点当たりの報告数は5.12と警報レベル(定点あたり5.0)を超えたため、愛知県は警報を発令しました。23週743人→24週932人(1.25倍)です。

【参考ページ】手足口病警報を発令します!! (6月20日発表)

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/hfmd2024.html>

手足口病に注意しましょう

<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/hfmd2013.html>

◆ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (図2)

24週の定点あたり報告数は3.47、23週677人→24週632人(0.93倍)です。

【参考ページ】A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html

◆ ヘルパンギーナ

24週の定点あたり報告数は0.77、23週105人→24週140人(1.33倍)です。

◆ RSウイルス感染症

24週の定点あたり報告数は0.92、23週239人→24週168人(0.70倍)で、3歳未満(0歳60人、1歳54人、2歳25人)の報告が全体の82.7%を占めています。

◆ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (図3)

愛知県の2024年24週までの累積報告数(診断週集計、2024年6月19日現在)は71件です。2023年24週までの累積報告数は32件、2023年総報告数は57件でした。全国の2024年23週までの累積報告数は1,019件です(全国の2023年総報告数は941件)。

【参考ページ】国内における劇症型溶血性レンサ球菌感染症の増加について(3月29日)(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/group-a-streptococcus-m/2656-cepr/12594-stss-2023-2024.html>

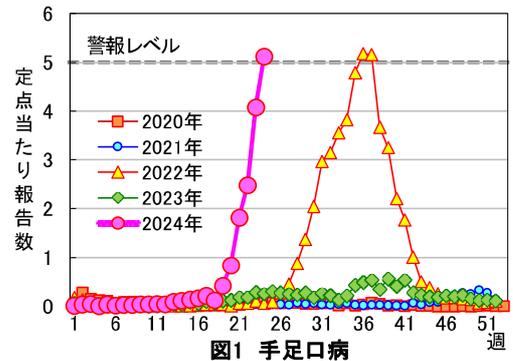


図1 手足口病

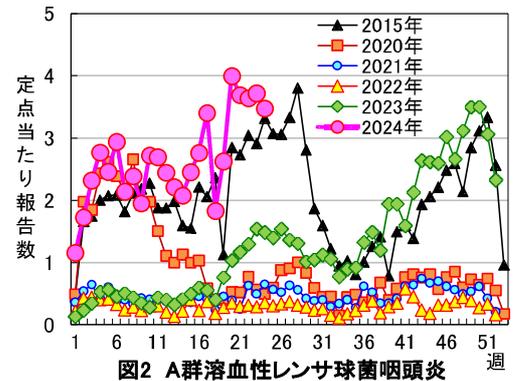


図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

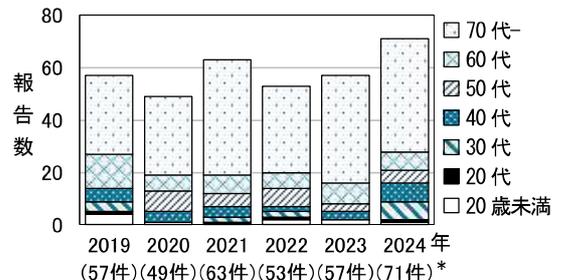


図3 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の年齢層別報告数

(愛知県、診断週集計、*2024年6月19日現在)